

取扱説明書

1. はじめにお読みください

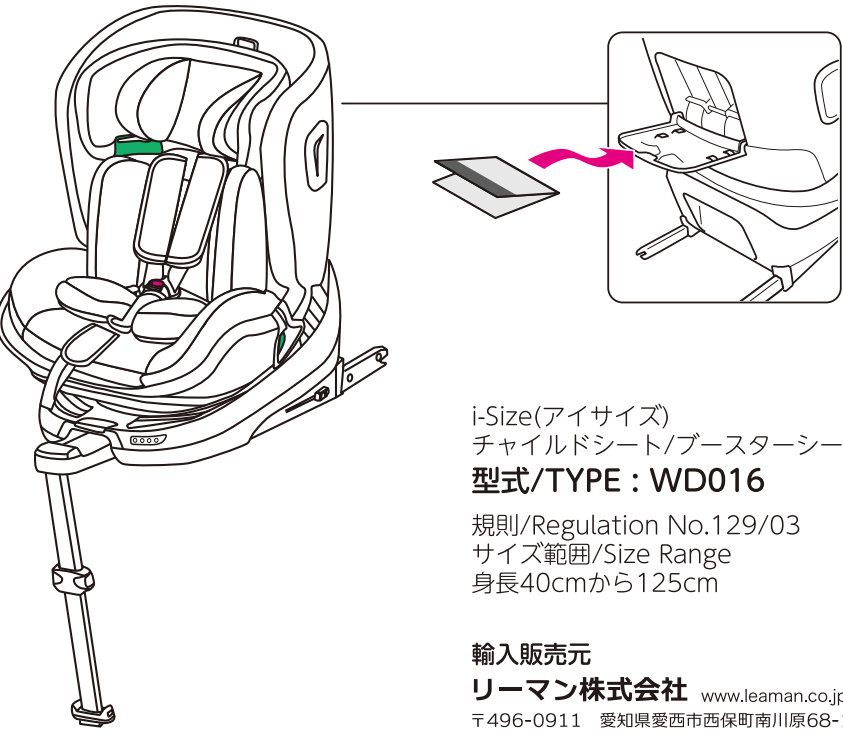
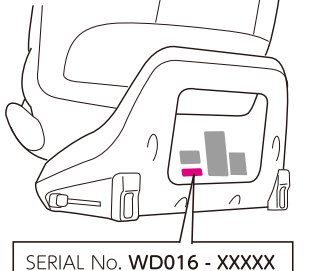
このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品は、正しく使用されている際のみ安全性と快適性を発揮するよう設計されています。ご使用前に必ず本書をお読みの上、記載された内容にしたがって正しくお使いください。
チャイルドシートは、交通事故などの際にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。
この取扱説明書は、取扱説明書ポケットに入れて大切に保管し、必要に応じてお読みください。

はじめにシリアルNo.をお控えください。

「本取扱説明書」(表面上方の保証書)、および同梱の「チャイルドシート保険兼お客様登録ハガキ」に「シリアルNo.」の記入欄があります。車両への取付けをおこなう前に本製品の背面下方にある「シリアルNo.」をお控えください。

※車両への取付け後、車両シートでシリアルNo.が見えにくい場合があります。

こちらからweb登録ができます。



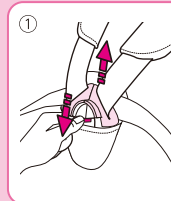
i-Size(アイサイズ)
チャイルドシート/ブースターシート
型式/TYPE: WD016

規則/Regulation No.129/03
サイズ範囲/Size Range
身長40cmから125cm

輸入販売元
リーマン株式会社 www.leaman.co.jp
〒496-0911 愛知県愛西市西青町南川原68-1
お客様相談室 **TEL. (0567) 27-0173**
受付時間 月曜日～金曜日(祝日・弊社指定休日は除きます)
AM10:00-12:00 PM1:00-5:00

2. 緊急時には・・・

衝突などの緊急時には、あわてず速やかにお子さまを救出してください。



①バックルの赤いボタンを押して、タンクははずします。
②幼児ベルトをお子さまからはずし、お子さまを救出してください。



バックルの赤いボタンを押しても、タンクははずれない場合はシートベルトカッター(市販品)などでベルトを切断してお子さまを救出してください。

3. 重要

3-1.R129とは i-Sizeとは

R129とは、精度の高いミニ人形の使用や側面衝突に関しての試験等、これまで以上に厳しい内容を定めたチャイルドシートに関する国際規格です。
i-Sizeとは、お客様が簡単・確実に取り付けることが出来る ISOFIX 固定方式を用いたチャイルドシートのカテゴリです。i-Size 適合車両のシートには、全般的に適合します。 ※それ以外の車両のシートについては、車両適合表をご確認ください。 また i-Size チャイルドシートでは、お子さまの成長にあわせて性能を発揮するために、お子さまの身長にあわせた使用方法とし、生後 15 ヶ月までは後向きでの使用が義務付けられています。

3-2.ISOFIXとは

ISOFIX(アイソフィックス)とは、国際標準化機構によって定められた車両のシートにチャイルドシートを固定する方式で、車両シートに設置された ISOFIX 取付け金具を使います。本製品は、i-Size 適合の車両だけでなく、ISOFIX 表記やマークのある車両に使用することが出来ます。

3-3.適合の確認

●本製品は、i-Size(アイサイズ)幼児用装置です。
●本製品は、車両メーカーの取扱説明書によって示されるアイサイズ適合車両の着座位置で主に使用するものとして UN 規則 No.129(UN R129/03) に基づいて認可されています。
●本製品は、お子さまの身長に対し、右表の ISOFIX チャイルドシートに対応した車両に取り付けることができますが、ISOFIX 取付け金具を装備したすべての車両に取り付けられるものではありません。弊社との適合表及び、車両メーカーの取扱説明書をご確認ください。

身長	設置向き	設置方法	承認タイプ
40-105cm	後向き	ISOFIX + サポートレグ + 幼児ベルト	i-SIZE
76-105cm	前向き	ISOFIX + サポートレグ + 幼児ベルト	
100-125cm	前向き	車両3点式シートベルト + ISOFIX 車両3点式シートベルト	

3-4.取付け可能な車両シートベルトの種類

シートベルトの種類と特徴	前向き取付け注意点
ELR ゆっくり引くと自由出入りし、勢よく引くとロックする。	ゆっくりとシートベルトを引き出して取付けてください。
AELR シートベルトを全て引き出した後巻き戻すと自動的に締まり、それ以上伸びなくなる。(シートベルトを全て巻き戻すと解除される)	シートベルトを全て引き出すと危険です。シートベルトを一度戻して、チャイルドシート固定機能を解除してから取付けてください。
その他 上記にあてはまらないシートベルト。	使用できません。

適合が不明な場合は、購入店、取扱代理店またはメーカーまでご連絡ください。

3-5.取付けできないシート

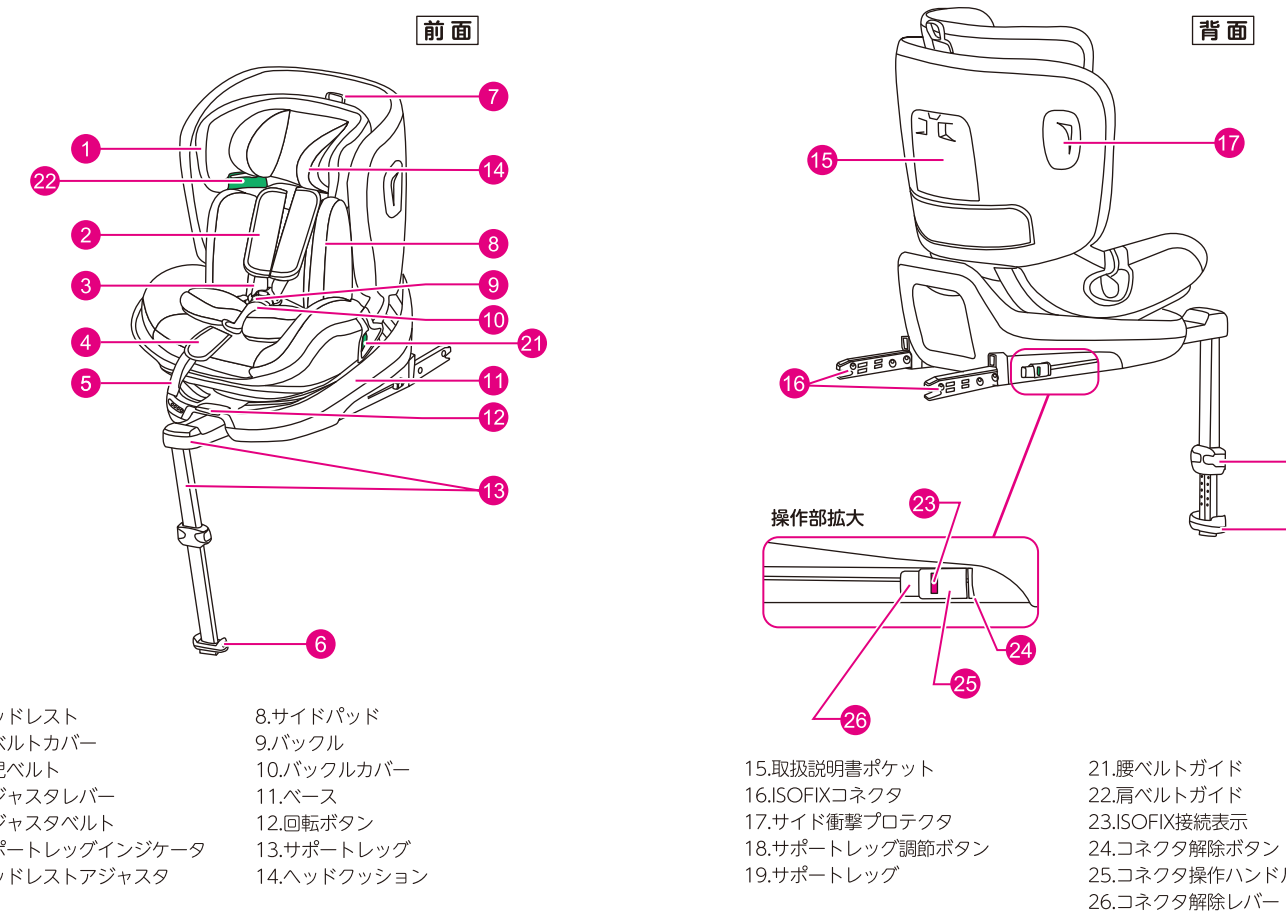
- ISOFIX 取付け金具が装備されていないシート。前向き取付け時に取付け金具を使用しない取付け方法もあります。
- 横向き、後向きになっているシート。(衝突の際にショックを取れません)
- チャイルドシートを取付けると運転操作の妨げや、視界の妨げになるシート。
- 前方にエアバッグが装備されているシート。(サイドエアバッグのみは使用できます)
- 助手席には取り付けないでください。
- 足下に床下収納ボックスが装備されているシート。
- 極端なバケットシート等、しっかりと固定ができないシート。

3-6.作業スペースの確保

安全に取付け作業をおこなうため、次のように作業スペースを確保してください。

- 取付け作業は、ドアの全開操作が可能な、平坦な場所でおこなってください。
- 車内の作業スペースを確保するため、前座席を前に倒し、できるだけ前シフトさせてから取付けてください。
- 車両座席がリクライニングで倒れている場合は、標準の位置、または車両の取扱説明書で指示されている位置に戻してください。

4. 各部名称



▲ 記載内容を守らないと、生命の危機または、重大な傷害につながるおそれがあります。

- 本製品は取扱説明書どおりに固定してください。
- お子さまの不特定な行動により、ベルトや製品の一部が首に巻きつくおそれがあるため、必ず保護者が同乗し、使用してください。
- 腰ベルトで骨盤がしっかりと拘束されるように、必ず腰ベルトを低く下げて着用させてください。
- 座席の形状などにより、取扱説明書どおりに固定できないときは、他の座席に取付けてください。
- 本製品のバックルをはずしたままの使用は危険ですので絶対に行わないでください。
- 後部座席に人が乗る場合の2ドア・3ドア車の助手席や、1BOX車やミニバンのセカンドシート乗降口側には、緊急時の脱出口確保のため、取付けしないでください。
- お子さまが、バックルの赤いボタンを押さないよう注意してください。ときどきタンクがバックルからはずれていないことを確認してください。
- 事故の衝撃や製品の落下など一度でも衝撃を受けた本製品は、外観に破損がなくても絶対に使用せず交換してください。
- 本製品の布製のカバーで覆われていない部分や金属部は、直射日光により高温になる可能性があります。お子さまがやけどをしないよう、直射日光を避け各部が高温でないことを確認してからご使用ください。
- 本製品を改造したり、カバー類・クッション類を取りはずして使用しないでください。
- シートカバーをはずしての使用、または専用カバー以外での使用はしないでください。(衝突時の安全性に影響を与えるおそれがあります)
- 車の座席にクッションや座布団を敷いたまま、取付けしないでください。しっかりと固定できません。
- お子さまを車内にひとりで放置することは絶対にしないでください。
- 運転中に本製品の操作(回転・ベルト調節・角度調節などの操作)をしないでください。
- 新生児(生後1ヶ月未満)にお使いいただく場合は、運転者以外に同乗者が乗り、目をはなさないでください。

●お子さまの負担を考慮し1時間以上連続して使用しないでください。

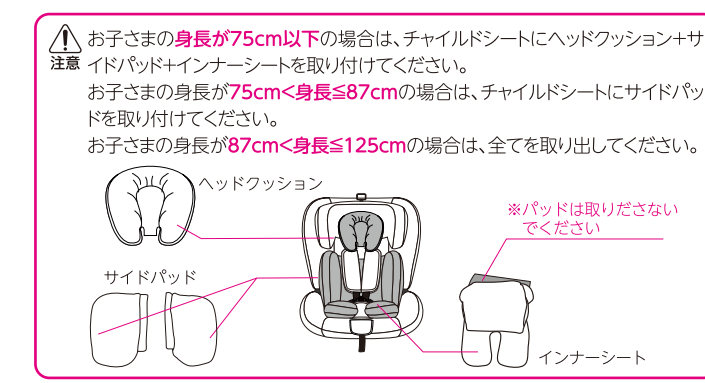
- エアバッグ装備の座席には使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により強い衝撃を受け危険です。
- ▲ 記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。
- お子さまを乗せる際には、本製品の取付け状態を再確認し、正しい状態で走行してください。また、走行中や走行後も異常がないことを確認してください。(確認は停車し、安全な状態でおこなってください)
 - 本製品にお子さまを乗せたまま車両への取付け・取りはずしはしないでください。
 - お子さまの乗り降りの際など、本製品の端に体重をかけると、転倒してケガなどをするおそれがあります。
 - お子さまが本製品の上で立ち上ったり、中腰になったりしないよう、注意してください。また、お子さまの遊び道具にしないでください。
 - 衝突の際、傷害を与える可能性のある荷物などはしっかりと固定しておいてください。
 - 車両シートの材質、形状により、キズや跡がつく場合がありますので注意してください。本製品と車両シートが接する面にはタオルなどをあてて、使用してください。
 - 可動式シートまたは車両のドアに剛性部分(プラスチック部分等)がはさまれないように本製品を取付けてください。
 - ベルトを鋭利なもので傷つけないよう注意してください。
 - 本製品を車両以外では使用しないでください。
 - 本製品を取付ける際は、取付ける車両の取扱説明書をあわせてお読みください。
 - お子さまだけで乗り降りすると危険です。乗せ降ろしは必ず保護者の方がおこなってください。
 - 本製品を持ち運ぶときは、ベース部以外をもちたないでください。故障の原因となります。
 - 爪をのばしたり、付け爪をしていると拘束や調節操作をする際、巻き込まれるおそれがありますので注意してください。

5. 使用条件

5-1.使用条件 お子様身長に合わせた、下記使用条件にあわせてご使用ください。

	ベビーモード	チャイルドモード	ハイバックモード
身長	40cm～105cm		100cm～125cm
取付け方向	後向き取付け	前向き取付け	前向き取付け サポートレグなし
固定方法	ISOFIXコネクタ+サポートレグ+幼児ベルト		車両3点式ベルト+ISOFIXコネクタ もしくはISOFIXコネクタなし
インナークッション	身長が75cm以下 ヘッドクッション サイドパッド インナーシート	75cm<身長≤87cm ヘッドクッション サイドパッド インナーシート	87cm<身長≤125cm ヘッドクッション サイドパッド インナーシート

5-2.インナークッションの使用



横向きでは、本来の機能を果たさず危険です。(お子さまの乗せ降ろしの際のみ横向きで使用してください。)

6. 事前準備

6-1.幼児ベルト調節のしかた

- 幼児ベルトをゆるめる
[4: アジャスタレバー]の奥側を押しながら、左右両方(2本)の[3: 幼児ベルト]を同時に手前に引き出す。
[3: 幼児ベルト]をゆるめる際は[2: 肩ベルトカバー]を持って引く張らないでください。
- 幼児ベルト高さ調整
ヘッドレスト高さを変えると、運動して幼児ベルト高さが変わります。
[7: ヘッドアジャスタ]を引いた状態を保ったまま [1: ヘッドレスト]を上または下へ動かす。
上げる場合は、ヘッドレストの下から持ち上げ、下げる場合は、ヘッドレストの上から引き下ろす要領で行います。
- 幼児ベルト位置の目安
●肩ベルトの位置は、お子さまの肩の高さにあわせて適正な位置を選んで使用してください。
●工場出荷時は、一番下の位置にセットされています。
- ・チャイルドシートを車両に取り付ける前に、[1:ヘッドレスト]をお子さまに適した高さに調整し、[1:ヘッドレスト]を軽く上下させて正しくかみ合っていることを確認してください。
・調整可能な[1:ヘッドレスト]の位置は9つあります。
[3:幼児ベルト]が出る位置が、肩と同じ高さになるように調整してください。同じにならない場合は、一段高い位置を使用してください。

6-2.リクライニングのしかた

「後向き」「前向き」使用時、お子さまの身長にかかわらず、5段階に角度を調節することができます。
本製品には5段階の角度調整が可能です。位置を変えるには、シート前方下にあるレバーをつかみながら、「カチッ」という音が聞こえるまで、希望の位置まで前後に移動させます。



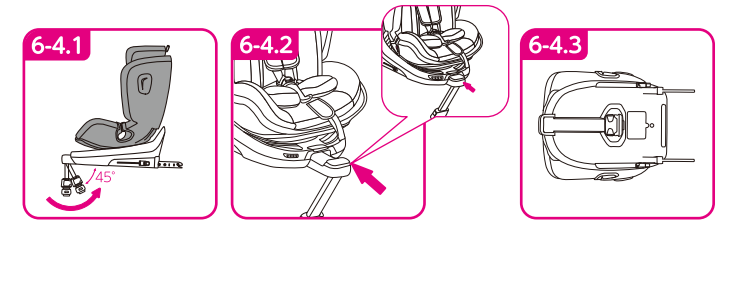
6-3.サポートレグを開く

はじめに、シートの下部から [13: サポートレグ] を取り出します。[13: サポートレグ] を 45° 起こすと、サポートレグアセンブリを前側に引き出すことができます。



6-4.サポートレグをたたむ

[13: サポートレグ] を 45° まで倒し、サポートレグアセンブリを完全に本体内部の所定の位置に収まるまで押し込みます。最後に、[13: サポートレグ] をシート下部のスロットにたたくまで納めます。



7. 車両への取付け お子さまの身長40-105cm 後向き取付け

身長40-105cm、後向き、ISOFIXコネクタ+サポートレグ+幼児ベルトの取付け手順

- 7-1.車両への取付け
所定の位置にロックされるまで[13: サポートレグ]を広げます。
[24: コネクタ解除ボタン]を押しながら、[26: コネクタ解除レバー]を押して、そのまま矢印方向に移動させ、[16: ISOFIXコネクタ]を最大限引き伸ばします。(左右のISOFIXコネクタを引き延ばします。)
- 注意 [16: ISOFIXコネクタ]が最後までスライドして赤いマークが表示された場合にのみ、次のステップに進んでください。
- [カチッ]という音が聞こえるまで、[16: ISOFIXコネクタ]を車両アンカーに直接押し込みます。
- [23: ISOFIX接続表示]が赤色から緑色に変わったことを確認してください。
シートを手前に引き、車両と[16: ISOFIXコネクタ]が確実にロックされていることを確認してください。
しっかりと固定されていない場合は、一旦取り外し-1の操作からやり直してください。
- うまくいかない時は、
●ISOFIX接続表示が緑色にならない。
→車両の ISOFIX 取付け金具にしっかりと接続されていない可能性があります。ベースの前方を少し持ち上げる、または車両シートをリクライニングするなどして、差し込み角度を調整し、もう一度 ISOFIX コネクタの差し込み操作をやり直してください。

- [18: サポートレグ調整ボタン]を握り、[13: サポートレグ]が床にしっかりと固定されるまで引き出します。
[6: サポートレグのインジゲータ]が緑になっていることを確認します。
- [12: 回転ボタン]を引きながら、シートを回します。横向きの位置でお子さまの乗せ降ろしをします。
- 無理に操作すると故障の原因になります。車両ヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずしてご使用ください。
●車両ヘッドレストをはずしても操作ができない場合、その座席では使用しないでください。
- シートが前向きまたは後向きの位置にない場合、運転しないでください。
●ベース背面やシートの背面、リクライニングレバーの下のすき間に指や手などを挟まれないよう、回転操作をしないでください。
●お子さまを乗せた状態のときは、ゆっくりと回転させ、お子さまの手足が本体などにつかからないよう、また、ベースとシートの間などにはさまれないようご注意ください。
●「後向き」使用時、お子さまの足がベース背面にある開口部に入った状態で回転操作をしないでください。
●チャイルドシートの背もたれを開けたドア側に回転させないでください。ドアを開けた際に背もたれとドアがぶつかって製品やお車の故障の原因になる場合があります。

7. 車両への取付け お子さまの身長40-105cm 後向き取付け

7-2. お子さまを乗せる

6-1を参考に[3:幼児ベルト]の調整をします。
[4:アジャスタレバー]の奥側を押しながら、左右2本の[3:幼児ベルト]を同時に手前に引き出します。

お子さまの身長が87cm以下の場合は、[3:幼児ベルト]の[9:バックル]をスロットAに移動します。
お子さまの身長が87<x<105cmの場合は、[3:幼児ベルト]の[9:バックル]をスロットBに移動します。

赤いボタンを押してタンクをはずし、チャイルドシートの側面に幼児ベルトを固定します。

夏場などは金属部が熱くなりやすいのでやけどに注意してください。

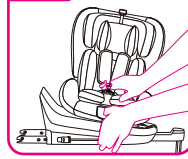
[3:幼児ベルト]を左右に開いてお子さまの座るスペースを確保する。
[9:バックル]がお子さまの股の間に取まるようにして、お子さまをシートの奥深くに座らせる。

正座しないようにしてください。

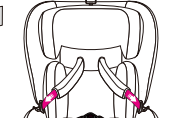
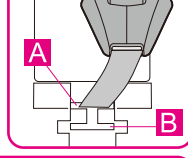
おしりとクッションの間にすき間ができないように深く座らせてください。

6-1を参考に[1:ヘッドレスト]の高さを調整します。
[1:ヘッドレスト]を正しく調整することで、お子さまを最適に保護することができます。[1:ヘッドレスト]は、[3:幼児ベルト]がお子さまの肩と同じ高さになるか少し上になるように調整してください。

7-2.1



7-2.2



7-2.4

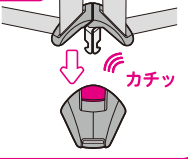


7-2.5



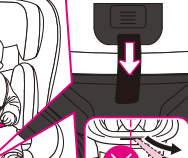
左右のタンクを重ね合わせ、「カチッ」という音がするまで[9:バックル]に差し込みます。

7-2.6



[3: 幼児ベルト] をお子さまの肩の中央と腰骨の出来るだけ低い位置にかけ、[5: アジャストベルト] をまっすぐ手前に引き、左右の幼児ベルトのたるみなくし、お子さまに密着させる。

7-2.7



警告 [5:アジャストベルト]を斜めに引くとベルトを傷め、お子さまをしっかりと拘束できなくなる可能性があります。

7-2.8



[3: 幼児ベルト] の調節のめやすとしては、お子さまの鎖骨と[2:肩ベルトカバー]の間に指一本入る程度が適切です。ゆるかったり、きつかったりするときは、[3: 幼児ベルト]の長さを調節してください。

7-2.9



シートを回転させ、「後向き」にして固定する。シートを回転方向にゆすり、動かない事を確認してください。

警告 お子さまの月齢が15ヶ月までは後向きで使用してください。

警告 横向きの状態では使用しないでください。

警告 この使用条件では、18kgを超えるお子様には使用できません。5.使用条件参照



8. 車両への取付け お子さまの身長76-105cm 前向き取付け

身長76-105cm、前向き、ISOFIXコネクタ+サポートレグ+幼児ベルトの取付け手順

8-1. 車両への取付け

所定の位置にロックされるまで[13:サポートレグ]を広げます。

[24:コネクタ解除ボタン]を押しながら、[26:コネクタ解除レバー]を押し、そのまま矢印方向に移動させ、[16:ISOFIXコネクタ]を最大限引き伸ばします。(左右のISOFIXコネクタを引き延ばします。)

注意 [16:ISOFIXコネクタ]が最後までスライドして赤いマークが表示された場合のみ、次のステップに進んでください。

[「カチッ」という音が聞こえるまで、[16:ISOFIXコネクタ]を車両アンカーに直接押し込みます。

[23:ISOFIX接続表示]が赤色から緑色に変わった事を確認してください。シートを手前に引き、車両と[16:ISOFIXコネクタ]が確実にロックされている事を確認してください。しっかり固定されていない場合は、一旦取り外し8-1の操作からやり直してください。

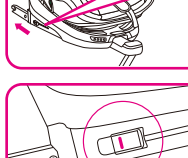
うましくない時は、

警告 ISOFIX接続表示が緑色に変わらない。
→車両の ISOFIX 取付け金具にしっかり接続されていない可能性があります。ベースの前方を少し持ち上げる、または車両シートをリクライニングするなどして、差し込み角度を調整し、もう一度 ISOFIX コネクタの差し込み操作をやり直してください。

8-1.1



8-1.2

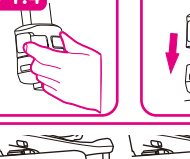


8-1.3



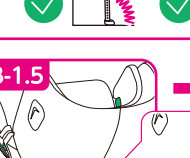
[18: サポートレグ調整ボタン]を押し、[13: サポートレグ]が床にしっかりと固定されるまで引き出します。[6: サポートレグのインジケータ]が緑になっていることを確認します。

8-1.4



警告 無理に操作すると故障の原因になります。車両ヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずしてご使用ください。
警告 車両ヘッドレストをはずしても操作ができない場合、その座席では使用しないでください。

8-1.5



[12:回転ボタン]を引きながら、シートを回します。横向きの位置でお子さまの乗せ降ろしをします。

注意 シートが前向きまたは後向き位置にない場合、運転しないでください。
警告 ベース背面やシートの背面、リクライニングレバーの下のすき間に指や手などをいれたまま、回転操作をしないでください。
警告 お子さまを乗せた状態のときは、ゆっくりと回転させ、お子さまの手足が本体などにぶつからないよう、また、ベースとシートの間などにはさまれないようご注意ください。
警告 チャイルドシートの背もたれを開けた状態で回転させないでください。ドアを開けた際に背もたれとドアがぶつかって製品やお車の故障の原因になる場合があります。

8-2. お子さまを乗せる

6-1を参考に[3:幼児ベルト]の調整をします。
[4:アジャスタレバー]の奥側を押しながら、左右2本の[3:幼児ベルト]を同時に手前に引き出します。

お子さまの身長が87cm以下の場合は、[3:幼児ベルト]の[9:バックル]をスロットAに移動します。
お子さまの身長が87<x<105cmの場合は、[3:幼児ベルト]の[9:バックル]をスロットBに移動移動します。

赤いボタンを押してタンクをはずし、チャイルドシートの側面に幼児ベルトを固定します。

夏場などは金属部が熱くなりやすいのでやけどに注意してください。

[3:幼児ベルト]を左右に開いてお子さまの座るスペースを確保する。
[9:バックル]がお子さまの股の間に取まるようにして、お子さまをシートの奥深くに座らせる。

正座しないようにしてください。

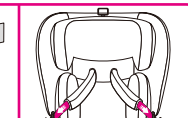
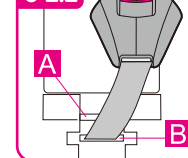
おしりとクッションの間にすき間ができないように深く座らせてください。

6-1を参考に[1:ヘッドレスト]の高さを調整します。[1:ヘッドレスト]を正しく調整することで、お子さまを最適に保護することができます。[1:ヘッドレスト]は、[3:幼児ベルト]がお子さまの肩と同じ高さになるか少し上になるように調整してください。

8-2.1



8-2.2



8-2.4



8-2.5



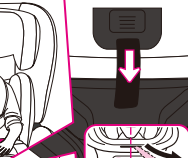
左右のタンクを重ね合わせ、「カチッ」という音がするまで[9:バックル]に差し込みます。

8-2.6



[3: 幼児ベルト] をお子さまの肩の中央と腰骨の出来るだけ低い位置にかけ、[5: アジャストベルト] をまっすぐ手前に引き、左右の幼児ベルトのたるみなくし、お子さまに密着させる。

8-2.7



警告 [5:アジャストベルト]を斜めに引くとベルトを傷め、お子さまをしっかりと拘束できなくなる可能性があります。

8-2.8



幼児ベルトの調節のめやすとしては、お子さまの鎖骨と肩ベルトの間に指一本入る程度が適切です。ゆるかったり、きつかったりするときは、幼児ベルトの長さを調節してください。

8-2.9

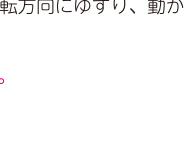


シートを回転させ、「前向き」にして固定する。シートを回転方向にゆすり、動かない事を確認してください。

警告 お子さまの月齢が15ヶ月までは後向きで使用してください。

警告 横向きの状態では使用しないでください。

警告 76cm未満のお子様は、「後向き」で使用してください。
この使用条件では、18kgを超えるお子様には使用できません。5.使用条件参照



9. 車両への取付け お子さまの身長100-125cm 前向き取付け ISOFIXコネクタを使用する場合

身長100-125cm、前向き、ISOFIXコネクタ+車両3点式ベルトの取付け手順

9-1. 車両への取付け

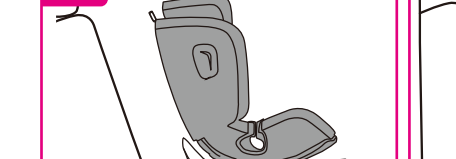
[6:サポートレグ]を、たたんだ状態にします。(6-4参照)

[24:コネクタ解除ボタン]を押しながら、[26:コネクタ解除レバー]を押し、そのまま矢印方向に移動させ、[16:ISOFIXコネクタ]を最大限引き伸ばします。(左右のISOFIXコネクタを引き延ばします。)

注意 [16:ISOFIXコネクタ]が最後までスライドして赤いマークが表示された場合のみ、次のステップに進んでください。

[「カチッ」という音が聞こえるまで、[16:ISOFIXコネクタ]を車両アンカーに直接押し込みます。

9-1.2

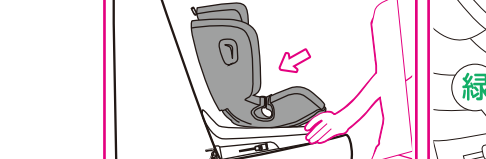


9-1.4



[23:ISOFIX接続表示]が赤色から緑色に変わった事を確認してください。シートを手前に引き、車両と[16:ISOFIXコネクタ]が確実にロックされている事を確認してください。しっかり固定されていない場合は、一旦取り外し9-1の操作からやり直してください。

9-1.2



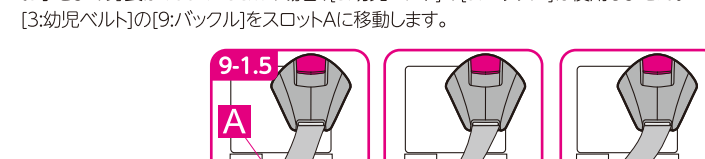
うましくない時は、

警告 ISOFIX接続表示が緑色に変わらない。
→車両の ISOFIX 取付け金具にしっかり接続されていない可能性があります。ベースの前方を少し持ち上げる、または車両シートをリクライニングするなどして、差し込み角度を調整し、もう一度 ISOFIX コネクタの差し込み操作をやり直してください。

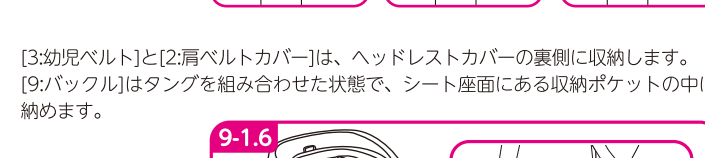
6-1を参考に[3:幼児ベルト]の調整をします。
[4:アジャスタレバー]の奥側を押しながら、左右2本の[3:幼児ベルト]を同時に手前に引き出します。

警告 インナークッションは使用しません。
警告 幼児ベルトは使用しません。

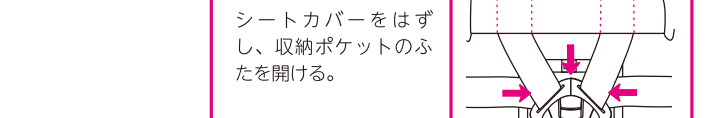
9-1.5



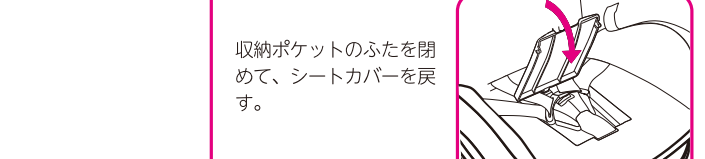
9-1.6



9-1.6



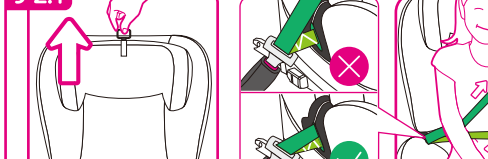
9-1.6



9-2. お子さまを乗せる

車両のベルトでお子さまを拘束します。ヘッドレストの高さを一番高い位置に調整し、お子さまを奥深く座らせてください。車両ベルトを引き出し、チャイルドシートへの[22:肩ベルトガイド]と[21:腰ベルトガイド]部を通し、車両バックルに「カチッ」と音がするまで差し込みます。
-ベルトガイド部は、緑色に着色されています。
-肩ベルトガイドは、片側のみ使用します。
-車両ベルト(腰側)は、腰骨の出来るだけ低い位置にかかるように調整し、たるみがないように腰部に密着させてください。

9-2.1

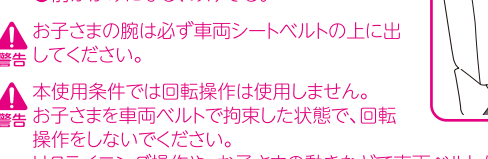


[1:ヘッドレスト]を調整し、[22:肩ベルトガイド]が肩と同じ高さか、やや高めめの位置になるように調整してください。

警告 次のような座らせ方では、ジュニアシートが本来の機能を果たさず、危険です。
●体を左右どちらかに傾けて座る。
●立てひざ・中腰・正座などをする。
●前かがみになる、のけぞる。

警告 お子さまの腕は必ず車両シートベルトの上に出さずしてください。

警告 本使用条件では回転操作は使用しません。お子さまを車両ベルトで拘束した状態で、回転操作をしないでください。リクライニング操作や、お子さまの動きなどで車両ベルトが緩んだときは、車両ベルトのたるみがない様、密着させて使用してください。



身長100-125cm、前向き、車両3点式ベルトの取付け手順

10-1. 車両への取付け

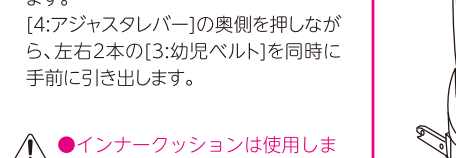
[16:ISOFIXコネクタ]を使用しない設置方法です。車両にコネクタがある場合には、9の設置方法でご使用ください。

[6:サポートレグ]を、たたんだ状態にします。(6-4参照)

チャイルドシートを、車両シートとなるべく深い位置(車両シートの背もたれ側)に設置します。

6-1を参考に[3:幼児ベルト]の調整をします。
[4:アジャスタレバー]の奥側を押しながら、左右2本の[3:幼児ベルト]を同時に手前に引き出します。

10-1.1



10-1.3



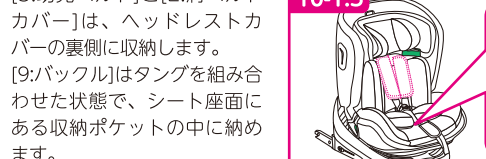
警告 インナークッションは使用しません。
警告 幼児ベルトは使用しません。

お子さまの身長が100-125cmの場合、[3:幼児ベルト]の[9:バックル]は使用しません。
[3:幼児ベルト]の[9:バックル]をスロットAに移動します。

10-1.4



10-1.5



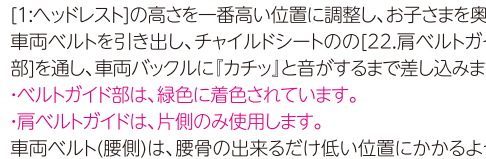
[3:幼児ベルト]と[2:肩ベルトカバー]は、ヘッドレストカバーの裏側に収納します。
[9:バックル]はタンクを組み合わせた状態で、シート座面にある収納ポケットの中に納めます。

シートカバーをはずし、収納ポケットのふたを開ける。
[9:バックル]はタンクを組み合わせた溝に納める。
収納ポケットのふたを開けて、シートカバーを戻す。

10-2. お子さまを乗せる

車両のベルトでお子さまを拘束します。ヘッドレストの高さを一番高い位置に調整し、お子さまを奥深く座らせてください。車両ベルトを引き出し、チャイルドシートへの[22:肩ベルトガイド]と[21:腰ベルトガイド]部を通し、車両バックルに「カチッ」と音がするまで差し込みます。
-ベルトガイド部は、緑色に着色されています。
-肩ベルトガイドは、片側のみ使用します。
-車両ベルト(腰側)は、腰骨の出来るだけ低い位置にかかるように調整し、たるみがないように腰部に密着させてください。

10-2.1



[1:ヘッドレスト]を調整し、[22:肩ベルトガイド]が肩と同じ高さか、やや高めめの位置になるように調整してください。

警告 次のような座らせ方では、ジュニアシートが本来の機能を果たさず、危険です。
●体を左右どちらかに傾けて座る。
●立てひざ・中腰・正座などをする。
●前かがみになる、のけぞる。

警告 お子さまの腕は必ず車両シートベルトの上に出さずしてください。

警告 本使用条件では回転操作は使用しません。お子さまを車両ベルトで拘束した状態で、回転操作をしないでください。リクライニング操作や、お子さまの動きなどで車両ベルトが緩んだときは、車両ベルトのたるみがない様、密着させて使用してください。



11. お手入れ方法

シートカバーは本製品の安全性に非常に重要であるため、必ず純正のカバーのみを使用してください。交換用のシートカバーは、小売店、代理店、またはメーカーから入手できます。チャイルドシートはカバーなしで使用しないでください。

日常のお手入れ方法

●取りはずしできるクッション類は取りはずしてから洗濯してください。(一部高脚型には無いものがあります)

●座席部やクッション類は固く絞ったタオルや乾いたタオルなどで拭いてください。

●掃除機などで、ほこりやこみを取ってください。

●飲み物など、しみの残りやすいものをこぼしたときは、乾かないうち拭き取ってください。

●製品の取り扱いや、型番と品質を確認の上、購入、取扱、取扱店またはメーカーまでご連絡ください。

●中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。本体、表面の生地、ベルト類をいためるおそれがあります。

シートカバーなどの縫製品の洗い方 ●中性洗剤を使用し、水またはぬるま湯で押し洗いしてください。

●洗剤は、脱色剤、漂白剤は避け、漂白剤は使用しないでください。 ●アイロン掛けはしないでください。

12. 保管/廃棄のしかた

保管 ●製品本体を長期間使用しない場合は、車から降ろし、お子さまの手が届かない、風通しのよい場所で直射日光を避けて保管してください。

廃棄 ●お住まいの自治体の規定にしたがって処分、廃棄してください。

●衝突事故や製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外観に破損がなくとも絶対に使用しないでください。処分する場合は、本製品が再利用されないようシートカバーなどははずして、廃棄してください。

ご案内

本装置はアイサイズ改良型幼児拘束装置です。本装置は、車両メーカーによって車両ユーザーマニュアルに記載されているアイサイズ適合車両高脚型で使用するものとして、UN規制No.129に従って認可されています。

ご不明な点がございましたら、改良型幼児拘束装置メーカーまたは販売店にお問い合わせください。

ご案内

本装置はアイサイズブースターシート改良型幼児拘束装置です。本装置は、車両メーカーによって車両ユーザーマニュアルに記載されている「アイサイズ適合車両」で主に使用するものとして、UN規制No.129に従って認可されています。

ご不明な点がございましたら、改良型幼児拘束装置メーカーまたは販売店にお問い合わせください。

重要

お子さまの月齢が15ヶ月を超えるまでは前向きで使用しないでください(説明書参照)。

本装置は、認可された車両がUN規則No.16で認可された3点式安全ベルトを装備している場合のみ適用しています。

エアバッグ装備の座席には使用しないでください。

※製品には万全を期しておりますが、万一点都不合な点がございましたら当社お客様相談室へご連絡ください。 ※製品の性能向上のため、予告なく仕様を変更することがあります。